

鹿児島市

ピアサポーターと共に マグマシティの未来を創る



鹿児島市では・・・

「にも包括」構築推進のため「精神保健福祉部会」において協議を重ねているほか、精神科病院・相談支援事業所・他関係機関等の連携を強化するとともに、ピアサポーターの活動基盤を整え、精神障害にも対応した地域における支援体制充実のため、

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業」

に取り組んでいます。

1 鹿児島市の基礎情報

鹿児島市



取組内容

【長期入院精神障害者の地域移行】

- ・地域移行推進戦略会議（年2回）
- ・地域移行推進会議（月1回）
- ・地域移行促進会議（月1回）

【人材育成】

- ・精神障害者ピアサポーター養成講座
- ・地域移行支援スタッフとして活躍するピアサポーターの訓練
- ・ピアサポーター交流会（月1回）
- ・ピアサポーターフォローアップ研修会

【普及啓発】

- ・市主催イベントや市政出前トーク等での市民との交流・体験談発表

【保健・医療・福祉関係者による協議の場】

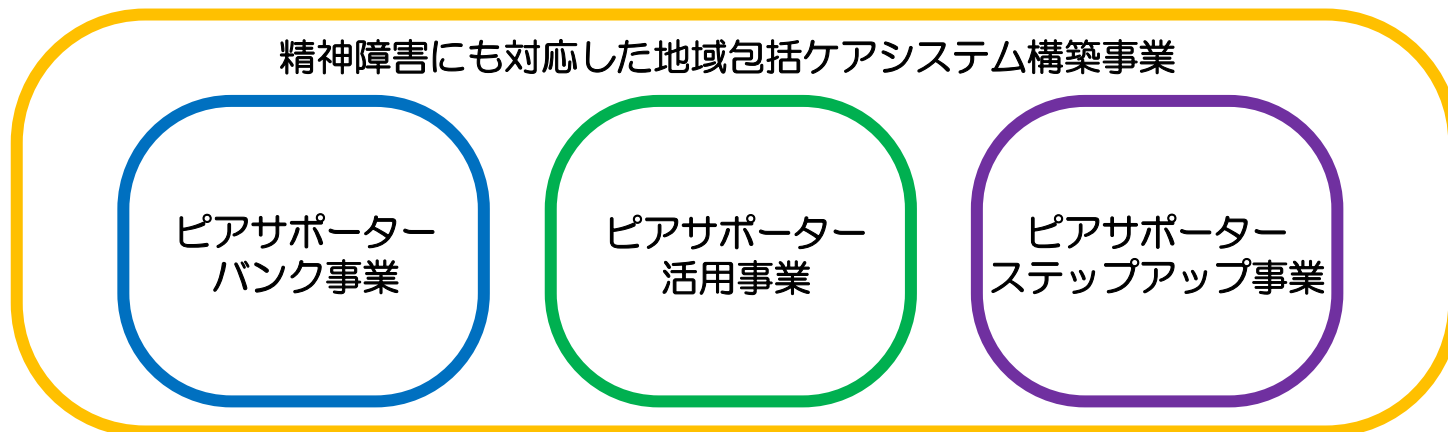
- ・障害者自立支援協議会精神保健福祉部会（年3回）

基本情報（都道府県等情報）

| | | | |
|---|-----------------------|---------|------------------|
| 障害保健福祉圏域数（R●年●月時点） | | | か所 |
| 市町村数（R5年7月時点） | | 1 | 市町村 |
| 人口（R5年7月時点） | | 587,706 | 人 |
| 精神科病院の数（R5年7月時点） | | 18 | 病院 |
| 精神科病床数（R2年10月時点） | | 3,283 | 床 |
| 入院精神障害者数 （R3年6月30日時点） | 合計 | 2,925 | 人 |
| | 3か月未満（％：構成割合） | 567 | 人 |
| | | 19.4 | ％ |
| | 3か月以上1年未満 （％：構成割合） | 521 | 人 |
| | | 17.8 | ％ |
| | 1年以上（％：構成割合） | 1,837 | 人 |
| 62.8 | | ％ | |
| | うち65歳未満 | 579 | 人 |
| | うち65歳以上 | 1,258 | 人 |
| 退院率（R1年時点） | 入院後3か月時点 | 52.7 | ％ |
| | 入院後6か月時点 | 72.3 | ％ |
| | 入院後1年時点 | 81.8 | ％ |
| 相談支援事業所数 （R5年8月時点） | 基幹相談支援センター数 | 1 | か所 |
| | 一般相談支援事業所数 | 23 | か所 |
| | 特定相談支援事業所数 | 62 | か所 |
| 保健所数（R5年8月時点） | | 1 | か所 |
| （自立支援）協議会の開催頻度（R5年度） | （自立支援）協議会の開催頻度 | 4 | 回/年 |
| | 精神領域に関する議論を行う部会の有無 | 有・無 | |
| 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R5年8月時点） | 都道府県 | 有・無 | か所 |
| | 障害保健福祉圏域 | 有・無 | か所/障害圏域数 |
| | 市町村 | 有・無 | 1 / 1 か所/市町村数 |

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

○精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業（R5～：委託）



長期入院精神障害者の地域移行推進事業（R1～：委託）
ピアサポーターステップアップ事業（R2～：委託） } 拡充・統合

《目的》

精神科病院・相談支援事業所・他関係機関等の連携を強化するとともに、ピアサポーターの活動基盤を整え、精神障害にも対応した地域における支援体制の充実を図る。

●支援体制づくりの協議の場

一般相談支援事業所や医療機関による地域移行支援の進捗状況や解決困難ケースの共有・検討等を行う。

- ・地域移行推進戦略会議（年2回）
- ・地域移行推進会議（月1回）

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

● 「ピアサポーターバンク事業」 …ピアサポーターの養成・フォロー

ピアサポーターを養成する講座を実施し、地域移行を促進するとともに、ピアサポーターが本事業を通じて交流会や研修会を主体的に行えるように支援することで、ピアサポーターの障害の特性やニーズに合わせた活動ができるようにする。

● 「ピアサポーター活用事業」 …地域移行支援で共に活躍するピアサポーターの訓練

精神障害者ピアサポーターに対し、指定一般相談支援事業所において地域移行支援スタッフとしての訓練を行い、長期入院精神障害者の退院支援及び地域生活支援を実施することにより、鹿児島市の地域移行を推進する。

● 「ピアサポーターステップアップ事業」 …ピアサポーター及び相談支援事業所のスキルアップ

一般相談支援事業所が地域移行支援を実施する際、鹿児島市で養成したピアサポーターを活用し長期入院精神障害者の地域移行を促進するとともに、体験談発表等の様々な活動を行うことでピアサポーター自身のスキルアップを図る。

長期入院精神障害者の退院意欲喚起のための体験談発表や、各地域、団体の会合等で、地域住民や学校、企業等へ向けての体験談発表を行うことにより、精神障害についての普及啓発を図る。

ピアサポーターと地域移行支援をすることのできる相談支援事業所を増やすため、ピアサポーターを活用して支援を行いたいと検討している一般相談支援事業所に対して、ピアサポーターと活動するにあたり必要となるスキル習得への助言や技術的援助を行う。

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

○障害者自立支援協議会精神保健福祉部会の開催

「障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して暮らすことのできる鹿児島市の実現」を大きなテーマとして、およそ年3回開催。

自立支援協議会

精神保健福祉部会（H26～）

これまでの具体的な取組

- ・障害福祉サービスの流れシートの作成
- ・グループホームの空き情報の収集・公開
- ・地域移行支援、地域定着支援に関するチラシの作成etc…

「にも包括」における鹿児島市の地域課題について（R3年度～）

- ・委員から上がった地域課題を「にも包括」構成要素（12要素※¹）に振り分け
 - さらに4つの助（自助・互助・共助・公助）に振り分け
 - （制度によらない）自助・互助の中で課題の共通項目ごとに振り分け
- ・共通項目「①実態が分からない、②連携・協働が不十分、③知識・理解が不十分、④その他」

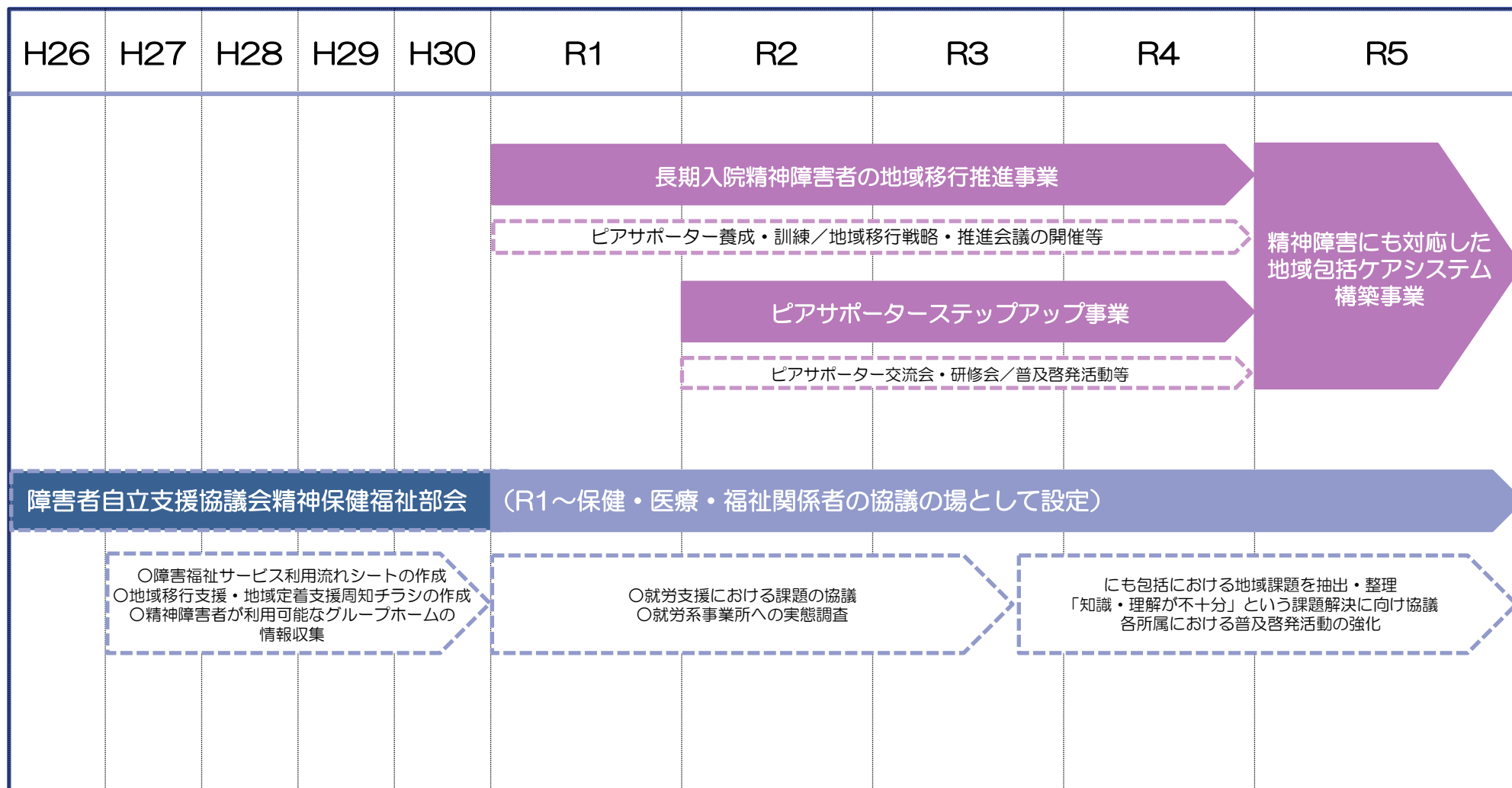


今後重点的に取り組むテーマを「③知識・理解が不十分」に着目＝普及・啓発に決定！

※部会だけで何かに取り組むのではなく、各所属機関のそれぞれができる普及啓発活動に取り組むことで各所属の持つ力の底上げとなり課題解決へつながる！

※1…住まい・本人・家族・医療・ピアサポート・ボランティア・地域の助け合い・社会参加/就労・障害福祉/介護・行政サービス・教育・その他

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯



4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

<令和4年度までの成果・効果>

| 課題解決の達成度を測る指標 | 目標値 (R4年度当初) | 実績値 (R4年度末) | 具体的な成果・効果 |
|-------------------------------|-----------------|----------------|---|
| ①ピアサポーター養成講座修了者数 | 30人 | 29人 | ・令和元年度から開始し、計77名のピアサポーターを養成。修了生が主体となり、交流会や研修会の企画・運営が行われている。 |
| ②ピアサポーターによる退院意欲喚起 (体験談発表等) | 6病院／6回 | 3病院／10回 | ・ピアサポーター訓練生が、協力病院の入院患者との交流や体験談発表を実施。計72名の方へピアサポーターの声を届けることができ、そこから地域移行支援申請に繋がったケースもあった。 |
| ③ピアサポーターによる普及啓発活動 (体験談発表等) | 10回 | 314人／6回 | ・精神保健福祉士や看護師、保健師を目指す大学生や、民生委員、地域福祉館の館長向けに体験談発表を実施。「精神障害者が安心して暮らすためには地域の人々の気づきと理解が必要である」「当事者の声を聴くことで理解が深まった」「精神障害は特別な病気ではなく身近なものである」等の感想があり、地域における正しい知識の普及啓発に寄与した。 |
| ④地域移行支援決定者数（延） | 37人 | 48人 | ・令和元年度に事業を開始するまで、地域移行支援の決定者数は一桁（1,2件）であったが、事業開始以降コロナ禍においても増加。10年以上入院歴のある方が、ピアサポーターとの関わり・地域移行支援を利用し退院に繋がったケースもあった。 |

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴（強み）】

- ・年度初めに、市内精神科病院・一般相談支援事業所向けに事業説明会を開催し、事業説明のほか、医療機関・相談支援事業所の取組やピアサポーターの活動を共有し、にも包括構築推進のための理解・協働を呼び掛けている。
- ・地域移行推進会議を毎月開催し地域移行支援の進捗状況等を共有・検討することで、地域移行への取組を止めずに継続できている。
- ・本市で養成したピアサポーターが、一般相談支援事業所と共に活動し、退院意欲喚起や地域移行支援を行っている。
- ・にも包括構築に資する協議の場にピアサポーターが参加している。
- ・ピアサポーター養成講座・研修会・交流会の企画・運営・実施に関して、ピアサポーターが主体的に取り組み大きな役割を果たしている。

| 課題 | 課題解決に向けた取組方針 | 課題・方針に対する役割（取組） | |
|------------------------------------|---|-----------------|---|
| 精神障害/メンタルヘルスに関する知識・理解が不十分 | 精神保健福祉部会にて「普及啓発」をテーマに、本部会構成委員それぞれの所属機関（医療・教育・障害福祉・ボランティア・行政等）が地域の中でできることに取り組むことで、各所属機関の持つ力の底上げになり、地域課題の解決に繋がっていく、という考えのもと協議を重ねていく。 | 行政 | 職員・市民向けの研修・講座・イベント等の実施 |
| | | 医療 | 地域との交流・市民向けの講座の実施 |
| | | 福祉 | 当事者、家族、関係機関からの相談への助言、連携 |
| | | その他関係機関・住民等 | 一般住民のメンタルヘルスの意識の向上 |
| ピアサポーターと共に活動できるノウハウをもった相談支援事業所が少ない | 地域移行支援の実績があまりなく、ピアサポーターと協働した支援に難しさを抱いている一般相談支援事業所に対し、ピアサポーターとの活動実績が豊富でノウハウをもっている一般相談支援事業所からの助言や技術的援助や、一般相談支援事業所同士でざくばらんに語り合える機会を設けることで、ピアサポーターと共に活動できる相談支援事業所を育成する。 | 行政 | 相談支援事業所同士が課題等を共有・検討できる場の提供（地域移行推進会議の開催） |
| | | 医療 | 地域移行支援を活用した退院支援の実施。ピアサポーターの介入が退院支援に効果的であると理解し、病院間で成果を共有し合う。 |
| | | 福祉 | 一般相談支援事業所への意欲喚起と未経験事業所への支援 |
| | | その他関係機関・住民等 | 地域移行支援の周知 |

| 課題解決の達成度を測る指標 | 現状値 (今年度当初) | 目標値 (令和5年度末) | 見込んでいる成果・効果 |
|-------------------|----------------|-----------------|---------------------------|
| ①ピアサポーター養成講座修了者数 | 29名 (R4実績値) | 30名 | 本市で活躍できるピアサポーターの増加／一般就労 |
| ②ピアサポーターによる退院意欲喚起 | 10回 (//) | 8回 (訓練開始後月1程度) | 長期入院障害者の減少／平均在院日数の減少 |
| ③ピアサポーターによる普及啓発活動 | 6回 (//) | 10回 (委託後月1程度) | 精神障害の正しい知識の普及啓発による共生社会の実現 |
| ④地域移行支援決定者数 (延) | 48人 (//) | 増加 | 地域移行支援を利用した更なる退院促進 |

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況

【にも包括構築の体制】

- 精神保健福祉部会（協議の場）において地域課題について協議を重ねることで繋がりを深め、にも包括を構成する（本人、家族、医療…）それぞれの持つ役割や強みを理解しながら協働を進める。
- 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業において、精神科医療機関/一般相談支援事業所/地域活動支援センター/基幹相談支援センター/ピアサポーター/行政が連携・協働し、ピアサポーターの養成・フォロー/地域移行支援で活躍するピアサポーターの訓練/ピアサポーターのスキルアップ/普及啓発/ピアサポーターと活動できる相談支援事業所の育成を実施することで、にも包括の構築を推進する。

| 所管部署名 | 所管部署における主な業務 | 連携部署名 | 連携部署における主な業務 |
|----------------|--|-------------------|---|
| 保健支援課 (保健所) | <ul style="list-style-type: none"> 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業 精神保健福祉部会の運営 障害者手帳(精神)/精神通院自立支援医療/障害福祉サービス(精神)の手続 精神保健福祉に関する相談・訪問指導 普及啓発講座等の実施 自殺対策事業 | 障害福祉課 | <ul style="list-style-type: none"> 障害者自立支援協議会を設置 基幹相談支援センター委託運営 障害福祉サービス関連事業所等の指定等 障害者手帳(身体・療育)/更生医療/障害福祉サービス(身体・療育)関連の手続 |
| | | 保健予防課 (保健センター) | 各保健センターにおいて地域における母子・成人・精神・高齢者の保健・福祉に関する相談・訪問指導、健康増進のためのイベントを実施。 |

| 各部門の連携状況 | | 強み・課題等 |
|-------------|--|---|
| 保健 | 地区個別ケース支援(措置入院患者退院後支援/医療観察法処遇者への支援を含む)における関係機関と連携。 | 保健所保健師が個別ケース支援を通して地域課題及びその解決策について考える機会がある。また、地区支援のみならず精神保健福祉関連事業課であるため、支援の中で見えた地域課題について実施事業と関連付けて検討しやすい。 |
| 医療 | 退院促進のため、地域移行支援を行っている一般相談支援事業所・ピアサポーターと連携。退院に向け地域の支援者も含めたケース会議を開催。毎月の地域移行推進会議にて地域移行の進捗を共有し、事例検討等している。 | 個別ケースを通して、医療機関・障害福祉サービス事業所・行政間の連携がとりやすい。 地域移行推進会議への参加医療機関が固定化してきているため、効果的な呼びかけ・協力依頼が必要。 |
| 福祉 | 事業委託相談支援事業所及び一般相談支援事業所が、毎月の地域移行推進会議にて地域移行支援の進捗を共有し、事例検討等している。また、毎月の地域移行促進会議にて、一般相談支援事業所同士で地域移行支援に関する困りごとや課題を共有・検討している。 | 個別ケースを通して、医療機関・障害福祉サービス事業所・行政間の連携がとりやすい。 ピアサポーターと共に地域移行支援ができる一般相談支援事業所は、市内登録事業所のうち数か所のみであり、長期入院精神障害者の地域移行支援を担える事業所が不足している。 |
| その他関係機関・住民等 | 協議の場に精神保健福祉ボランティアが参加している。医療機関に呼びかけスポーツ大会を実施したり、行政主催の普及啓発イベントへの協力等を行っている。 | ボランティアは「支援者と患者(当事者)」という関係性ではなく、同じ地域に住む対等な関係での関わりができる。ボランティアの存在を広め、興味のある市民に対し養成講座を実施し、ボランティア活動ができる市民を増やす。 |

※各部門の状況はできるだけ詳しく記載ください

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

| 名称 | 協議の場の構成員 | 開催頻度 | 実施内容 | 特記事項等 (課題・強み等) |
|--------------------|--|-------|--|--|
| 障害者自立支援協議会精神保健福祉部会 | ・保健・医療・福祉関係機関、行政、当事者代表、基幹相談支援センター、地域活動支援センター | 3回/年 | ・にも包括推進のための協議の場として、課題及び解決に向けた方向性、目標を検討 | ・多機関が関わることで、各自でできる取組や目標を検討することができる。 |
| 地域移行推進戦略会議 | ・市内精神科医療機関、一般相談支援事業所、地域活動支援センター、ピアサポーター、基幹相談支援センター、保健所 | 2回/年 | ・にも包括の事業報告 ・鹿児島市の目標と戦略について確認 | ・開催時期を6月と3月に実施することで、鹿児島市としての今後の目標の確認・共有、事業の振り返りを、多機関と共に行うことができる。 |
| 地域移行推進会議 | ・市内精神科医療機関、一般相談支援事業所、地域活動支援センター、ピアサポーター、基幹相談支援センター、保健所 | 10回/年 | ・退院支援候補者リストに基づく支援進捗状況の共有、事例検討等 | ・他病院の退院支援候補者リストの情報共有することで、似た事例があった際に地域移行支援を行うヒントや参考となる。 |
| 地域移行促進会議 | ・一般相談支援事業所、ピアサポーター、基幹相談支援センター、保健所 | 10回/年 | ・ピアサポーターと共に地域移行支援を行うためのノウハウを学ぶ(悩みや課題の共有) | ・会次第を設けず、一般相談支援事業所同士でざっくばらんに話しあうことでつながりを深め、課題解決に向けて助け合うことができる。 |

【その他事項】 ※協議の場運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載ください

・協議の場や事業に参加している担当者だけでなく、担当者の各所属に対しても、地域移行や「にも包括」構築推進の必要性について理解を深めてもらうためにどのような仕掛け作りができるか。

8 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の取組スケジュール

| 時期(月) | 実施する項目 | 実施する内容 |
|---------|--------------------|---|
| R5.4.27 | にも包括の共通理解・協力 依頼 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業説明会 |
| R5.6.16 | 長期入院精神障害者の地域 移行 | <ul style="list-style-type: none"> ・第1回地域移行戦略会議・推進会議/促進会議 (6月以降毎月1回開催) |
| 7月～ | 人材育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーター養成講座・訓練生面接 ・第1回ピアサポーター交流会 |
| 8月～3月 | ピアサポーターの活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域移行支援で活躍するピアサポーターの訓練 |
| | 長期入院精神障害者の地域 移行 | <ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーター訓練生による精神科病院での体験談発表 ・地域移行支援 等 |
| 10月 | 協議の場 | <ul style="list-style-type: none"> ・第1回精神保健福祉部会 (第2回を1月、第3回を3月開催予定) |
| 3月末 | 長期入院精神障害者の地域 移行 | <ul style="list-style-type: none"> ・第2回地域移行戦略会議 |
| | 人材育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーターフォローアップ研修会 |